

各位

会社名 株式会社ニューロマジック
コード番号 251A
上場取引所 東証 TOKYO PRO Market
福証 Fukuoka PRO Market
代表者名 代表取締役社長 CEO 黒井 基晴
問合せ先 取締役 CIO 石川 修一
TEL 03-3248-1424
URL <https://www.neuromagic.com/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

株式会社東京証券取引所が2026年4月3日付で公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、「エクスペリエンスエージェンシー」として、あらゆるエクスペリエンスにおいて最もふさわしい解決を追求し、ふさわしい体験の創造で紡いでいくことを目指して事業を行っております。このような中、事業のさらなる成長と企業価値の向上を目指し、事業面、人材採用面、資金調達面において今後の成長に大きく寄与することを目的として、TOKYO PRO Market へ上場いたしました。

(1) 事業面（知名度・信用力向上による事業拡大）

当社は、上場による認知度向上によって、当社の事業内容が上場企業やそれに準ずる水準の大手企業をはじめ、エンタープライズ企業を中心とした業界内外において広く浸透することを想定しております。大手企業やエンタープライズ企業等における稟議プロセスにおいて、当社が上場企業であることは発注先選定において優位になると考えられ、競合他社に対する差別化や競争優位性の確保に繋がります。これらの発注実績が好事例となり、それを見た上場企業等に対する新たな受注が見込めるという好サイクルを生み出し、結果的に受注機会の増大に繋がると考えております。

(2) 人材採用面（優秀な人材の採用と定着率の向上）

上場による知名度の向上や、上場企業であるという安心感を通じて、優秀な社員の採用を促進するとともに、安心して働ける企業としてその後の定着率の向上に繋がれることを期待しております。とりわけ、顧客のデザインニーズを的確に嗅ぎ分け、適切な提案を行うことができるニーズ探索型の営業を強化していく方針です。

(3) 資金調達面（資金調達手段の多様化と信頼性向上）

上場を通じて、市場からの資金調達を含めた多様な資金調達手段の可能性が広がるとともに、銀行をはじめとした金融機関からの信頼性の向上や借入環境の好転が期待できると考えております。

2. 上場目的の実現状況

上場後、当社は上記の目的に沿って以下の取り組みを進めており、現時点における実現状況は次のとおりです。

(1) 事業面（知名度・信用力向上による事業拡大）

上場企業としての社会的信用を獲得したことで、新規取引開始時における信用調査等のプロセスが円滑化し、商談から案件受注に至るまでのスピードが向上していることを実感しております。特に、厳格な選定基準を持つ金融機関をはじめ、高い信用力が求められる業界からの受注が実現するなど、新規取引先との初回の商談において厚い信頼を獲得しやすくなっているほか、既存取引先との間でもより強固な信頼関係の構築に繋がっております。

また、新規案件のコンペティション等においても、上場企業としての信用力が提案活動においてポジティブに働いているものと考えております。実際に、知名度向上に伴いエンタープライズ企業からの引き合いも増加傾向にあり、直近年度においては、グローバルに展開する大手外食チェーンから大型案件を受注するなど、具体的な成果に結びついております。

今後は、これらの上場効果を最大限に活かし、5年後には売上高12億円の達成を一つの目標として掲げております。この目標の実現に向け、既存顧客との取引深耕や上場企業としての信用力を活かした新規開拓等に注力し、より一層の事業拡大と受注機会の増大に努めてまいります。

(2) 人材採用面（優秀な人材の採用と定着率の向上）

上場による知名度向上や信用力の補完効果により、採用候補者からの当社に対する関心は高まっており、採用に関する問い合わせ等の件数も増加傾向にあると認識しております。上場初年度から直近年度につきましては、全体の業績動向等を総合的に勘案して採用関連費用を抑制したため、具体的な採用実績には至りませんでした。今後の事業の安定・拡大に合わせて、当社の成長を牽引する中核人材の採用を積極的に推進していく方針です。

また、従業員の定着率については、上場を通じた社内環境の整備や安心感の醸成等もあり、平均勤続年数が上場時の6.5年から直近では8.0年へと着実に伸長しており、定着率の向上において一定の成果が表れております。今後も継続して平均勤続年数や定着率をモニタリングし、働きやすい環境づくりに努めてまいります。

(3) 資金調達面（資金調達手段の多様化と信頼性向上）

上場企業としての透明性とガバナンス体制の整備が評価され、金融機関からの信頼性が着実に向上しております。その具体的な成果として、新たな金融機関よりプロパー融資の提案を受け、事業運営に必要な資金の借入を実行いたしました。

今後の資金調達につきましては、事業拡大のフェーズに応じて必要なタイミングで最適な資金調達を機動的に実行できる財務基盤および取引関係を維持・拡大していくことを重要な評価軸として位置付けております。今後も、上場企業としての社会的信用を背景に、既存の取引先はもちろんのこと、新規の金融機関とも良好な関係を構築し、当社の事業拡大に向けた機動的かつ多様な資金調達を実現してまいります。

3. 今後の取り組み

当社は、今後もTOKYO PRO Market上場の目的の実現に向けた取り組みを継続するとともに、上場企業としてのコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制のさらなる強化、適時適切な情報開示に努めてまいります。また、上場目的の実現状況については、今後も毎年1回以上、定期的に評価し開示してまいります。

以上